

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●桜花賞は白毛馬ソダシが優勝

4月11日(日)に行われた桜花賞(G I)では、デビューから4戦4勝のソダシ(牝3歳/栗東・須貝尚介厩舎)が優勝しました。無敗の桜花賞馬は史上8頭目。白毛馬のG I勝利は自身が勝った阪神ジュベナイルフィリーズ以来、史上2度目のことで、白毛馬のクラシック制覇は史上初のこと。勝ちタイム1分31秒1は、2019年にグランアレグリアが記録した1分32秒7を更新するレースレコード、および2017年米子Sでブラックムーンが記録した1分31秒9も更新するコースレコードとなります。

### ●横山琉人騎手がJRA初勝利をあげる

4月10日(土)の3回中山5日・第1レースではノアフアンタジーが1着となり、同馬に騎乗した横山琉人騎手(美浦・相沢郁厩舎)は、JRA初勝利(25戦目)をあげました。

### ●大野拓弥騎手がJRA通算600勝を達成

4月11日(日)の3回中山6日・第9レースとして行われた千葉日報杯ではアカノニジュウイチが1着となり、同馬に騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、史上78人目、現役では32人目となるJRA通算600勝(1万1084戦目)を達成しました。

### ●古賀慎明調教師が通算300勝、橋口慎介調教師が通算100勝を達成

4月10日(土)の3回中山5日・第3レースではマイネルアミスターが1着となり、同馬を管理する古賀慎明調教師(美浦)は、現役63人目となるJRA通算300勝(延べ3751頭目)を達成しました。同日の1回新潟1日・第4レースではレディアリエスが1着となり、同馬を管理する橋口慎介調教師(栗東)は、現役150人目となるJRA通算100勝(延べ1178頭目)を達成しました。

### ●香港チャンピオンズデーの勝馬投票券を発売

4月25日(日)、香港・シャティン競馬場で行われる香港チャンピオンズデーの勝馬投票券が、インターネット投票(即PAT会員とA-PAT会員)および当日に中央競馬の発売が行われる競馬場・ウインズ等での「UMACA投票(キャッシュレス)」にて発売されることとなりました。対象レースは、ダノンスマッシュが出走予定のチェアマンズスプリントプライズ(G 1)と、キセキ、グローリーヴェイズ、デアリングタクト、ラヴズオンリーユーが出走予定のクイーンエリザベスⅡ世C(G 1)の2レースとなります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●東京スプリント(大井)でリュウノユキナが重賞初制覇

東京スプリント(JpnⅢ、4月14日、大井、1200m)は、4番手から直線に入って間もなく先頭に立った1番人気のリュウノユキナ(柴田善臣騎手、牡6歳、父ヴァーミリアン)が、2番人気のサブノジュニア(大井)の追撃をアタマ差凌ぎ、初の重賞制覇。ノボバカラは4着、ヒロシゲゴールドは5着、サイクロトロンは8着、イモータルスモークは11着でした。

### ●リュウノシンゲン(岩手)が重賞5勝目【各地の主要3歳重賞】

スプリングC(4月4日、水沢、1600m)は、先手を取ったリュウノシンゲン(牡、父グランプリボス)が後続を9馬身引き離して圧勝、単勝1.4倍の支持に応えました。ル・ブランタン賞(4月4日、佐賀、1800m、牝馬)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った1番人気のトゥルスウィー(父ヴァンセンヌ)が、高知からの遠征馬サンシェリダンに2馬身半差を付けて完勝、花吹雪賞に次ぐ重賞制覇を果たしています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G 1 ドンカスターマイル〜カスカディアンがG 1 初制覇

4月10日、17日の2日間で組まれた「ザ・チャンピオンシップス」の初日のメインレースとなるG 1 ドンカスターマイル(3歳上、ハンデキャップ、芝1600m)がオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のランドウィック競馬場で行われ、女性のJ.カー騎手を背に中国でレースを進めたカスカディアン(騾6歳、父ニューアプローチ、J.カミングス厩舎)が差し切って優勝。G 1 初制覇を果たしました。カスカディアンはフランスでデビューし、G 1 ジャンブラ賞2着などの成績を残した後、オーストラリアに移籍。前走のG 1 ジョージライダーSは4着でした。

### ●グランドナショナル〜女性騎手が史上初の優勝

イギリスで最も人気のあるレースである障害のG 3 グランドナショナル(7歳上、芝6870m、30障害)が4月10日にイギリスのエントリー競馬場で行われ、レイチェル・ブラックモア騎手(31歳)が手綱を取ったミネラタイムズ(騾8歳、父オスカー、H.デブロムヘッド厩舎)が優勝。女性騎手として史上初となる快挙を達成しました。ブラックモア騎手は、先月のチェルトナムフェスティバルでもG 1 チャンピオンハードルを制したほか、開催最多勝騎手にも輝いています(ともに女性騎手初)。